

高等学校 令和6年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～5組

教科担当者：（1組：佐々木）（2組：丹羽）（3組：丹羽）（4組：丹羽）（5組：丹羽）

使用教科書：（高校生の地理総合（帝国書院））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめあげる技能を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関する事象の意味や意義、相互の関連性を多面的・多角的に考察し、説明する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自国と、他国や他国の文化を尊重することの大切さを自覚する。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての知識・技能を身に付ける。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての思考力を身に付ける。	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者となることに向けて学ぼうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解する。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につける。 ②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだす。	1 地球上の位置と地上の現象 2 経度の違いと時差 3 球体と平面の世界 4 地図の種類 5 地理情報システムの利用	①地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取ることを通じて、地図や地理情報システムの役割や有用性を理解している。 地球儀やさまざまな図法の地図から現代世界の姿を読み取る技能や、地図や地理情報システムを利用する技能を身につけている。 ②各種の地図にはどのような特徴があるのかや、地図や地理情報システムはどのように利用できるのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③目的に応じた地図や地理情報システムの利活用の方法について、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	①世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解する。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的な見方・考え方を身につける。 ②地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現する。 ③世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだす。	1 生活と地形の関わり 2 河川がつくる地形と人々の生活 3 海岸の地形と人々の生活 4 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	①世界の多様な生活文化が、自然環境や社会環境を背景に、互いに影響を及ぼし合いながら形成されてきたことを理解している。 世界の生活文化の多様性の背景となるものや、世界の生活文化の相互関係を見いだすための、地理的な見方・考え方を身につけている。 ②地形や気候、産業とその発展、歴史、人の移動、他地域との結びつきに着目しながら、世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の多様な生活文化を尊重し、共生を図っていくことについて、主体的に追究し、課題を見いだしている。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

